

がんセンター だより

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——

目次

- 移転のお知らせ
化学療法センター
がん患者・家族サロン
- がん遺伝子パネル検査について
- IBCまつり参加報告
- がんフォーラム参加報告
- がんサロンからのお知らせ

化学療法センタースタッフ



化学療法センターが移転しました

センター長 小原 航

(岩手医科大学 泌尿器科学講座 教授)



2025年10月、岩手医科大学附属病院「化学療法センター」は、東7階病棟エリアへ移転し、装いも新たにリニューアルオープンいたしました。当センターでは、通院しながらがん薬物療法を受けていただく患者さんに対し、安全で質の高い医療の提供に努めています。

当院では、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、外来化学療法を次の流れで進めています。まず各診療科の外来で主治医が治療前の診察を行い、患者さんの体調や血液検査結果などを確認します。加えて、がん薬物療法認定薬剤師が中心となり、これまでの治療による副作用の有無や程度を詳細に評価します。その後、患者さんには化学療法センターへ来室していただき、看護師による体調確認を行い、点滴または注射の治療が始まります。このように医師、薬剤師、看護師をはじめとする多職種が連携し、患者さんの全身状態を総合的に評価したうえで、当日の薬物治療の可否を判断しています。

センター内には、患者さんが長時間の治療でも快適に過ごしていただけるように、専用のリクライニングチェアを30床備え、1日あたり約60名の患者さんの治療に対応しています。さらに、がん化学療法に特化した入院病棟が隣接しており、治療中に副作用などの体調変化が生じた場合に

も、主治医やがん化学療法認定看護師などの専門スタッフが迅速に対応できる体制を整えています。治療終了後も、体調変化や副作用への対応について説明を行い、安心してご帰宅いただけるよう支援しています。

また、センターに併設された「がん患者・家族サロン」は、がん患者さんとそのご家族の精神的ケアを目的とした空間です。がんに関する各種情報やウィッグなどのパンフレットを取り揃えており、治療の有無にかかわらず、どなたでも無料でご利用いただけます。併せて実施している「よろず相談」では、看護師、薬剤師、栄養士、医療相談員(医療ソーシャルワーカー)などの専門スタッフが、がんに関するさまざまな疑問や不安にお応えしています。

がん化学療法を取り巻く医療環境は日々進歩しており、患者さんを中心とした多職種連携によるチーム医療の重要性は、ますます高まっています。当センターでは、患者さんの負担軽減と安全・安心な治療環境の提供に、今後も継続して取り組んでまいります。



化学療法センターの特徴

化学療法センターは、患者さんが仕事や日常生活に近い形で、入院せず外来通院しながら安心してがん薬物治療を継続していただくための場所です。

① 清潔な環境

30床のベッド(電動リクライニングチェア29床、ベッド1床)



② 充実した設備

リクライニングチェアには全てテレビやDVDが完備されています。
1部屋4~6名 プライベートを考慮した半個室となっており、リクライニングは2種類あり、患者さんの要望に応じたベッドで治療ができます。また、付き添い(原則1名)も可能です。

③ 安全な治療体制

化学療法センターが、病棟エリアの近くに移転したことで、治療中に副作用などの不調を訴える患者さんが出た場合、これまで以上に、担当医や看護師などのスタッフが、すぐに駆けつけられる体制を整えております。



④ 看護師

毎月、化学療法センターでは、約1000件程度の化学療法を実施しています。看護師、がん化学療法認定看護師が中心となり、点滴中の観察や管理と、自宅に帰ってからの有害事象対策の指導を実施しております。実施前には治療の不安を和らげるため丁寧な説明を行っております。

⑤ 薬剤師

化学療法を専門とした薬剤師(がん専門薬剤師)が、高い技術と最新の知識を持って正確な抗がん剤の調製をしております。患者さんにはお薬の説明、副作用の確認・対応、患者さん個々の薬剤の調整、管理を行っております。



⑥ 化学療法の安全管理

化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認するため、月に一度、化学療法に携わる医師、看護師、薬剤師、栄養士などから構成される化学療法委員会を開催しています。

⑦ 抗がん剤の副作用

夜間、休日などに体調がすぐれない場合、患者さんや家族がいつでも連絡できるよう24時間対応でき、必要に応じて入院できる体制を整えております。

がん患者・家族サロン移転のお知らせ

2025年10月14日に、がん患者・家族サロン(以下、がんサロン)は、外来2階から東病棟7階に移転しました。この移転に伴い、がんサロンの内容も変わりました。

1. がんサロンについて

がんサロンは、無人になりました。がんサロンに御用のある方は、大変お手数ですが、お近くの病院スタッフ、もしくは、がんセンター事務室までお電話ください。【019-613-7111(内線3222)】がんセンターのスタッフが、がんサロンまで伺いますので、いつでも遠慮なくご連絡下さい。

2. がん相談・アピアランスコーナーについて

がんに関する相談、がんについて知りたい、こころの悩み、副作用などによる外見の変化でのお悩み、またウィッグなどをご覧になりたい方は、1階 患者サポートセンター内にある、「がん相談支援センター」にお越しください。また、電話予約も可能です。お急ぎの方は、是非、電話で予約の上、お越しください。【019-611-8073(直通)】

「がん相談支援センター」では、タオル帽子やコットン帽子等の配布も行っております。アピアランスコーナーもごございます。

3. 各種イベントについて

これまでどおりイベントは開催しております。イベント開催時は、スタッフやボランティアも在室しております。また、タオル帽子やコットン帽子の配布も行っておりますので、是非ご来場ください。イベントの開催日時については、がんセンターが発行するリーフレット、カレンダーや、がんサロンのホームページ、がんサロンの掲示などをご覧ください。



4. 図書コーナーについて

図書は、スタッフが在中しているイベント開催時は、その場で貸し出しが可能です。それ以外の場合は、がんセンター事務室までご連絡ください。がんサロン内では、これまでどおり自由に閲覧して頂いて結構です。

5. 問合せ先

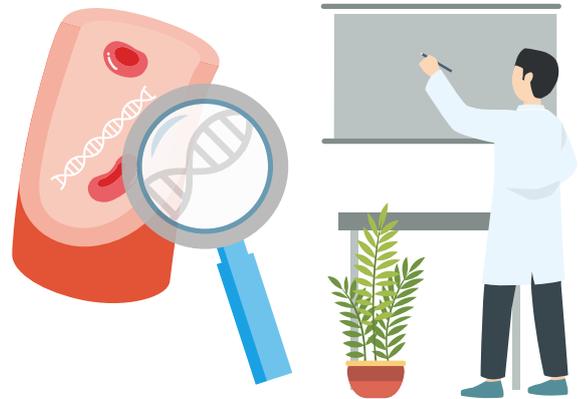
がんセンター事務室 : 019-613-7111(内線3222)
がん相談支援センター : 019-611-8073(直通)



がんゲノム医療 (がん遺伝子パネル検査)について

がんゲノム医療とは？

従来がん治療は概ねがんの種類で決まっていたのですが、がんの種類よりも遺伝子の変異が治療選択の根拠となることがわかってきました。「がんゲノム医療」は、患者さんのがん組織に特有の遺伝子変異情報に基づいて治療を行うものです。



■ がん遺伝子パネル検査って何？

がん細胞に起こっている遺伝子の変化を調べることで、そのがんの特徴が分かります。その特徴に合った治療法を探すための検査です。



■ がん遺伝子パネル検査は、どこで受けられるの？

岩手県では、唯一「がんゲノム医療連携病院」に指定されている岩手医大でのみ、検査を受けることが出来ます。現在通院中の医療機関の主治医にご相談し、予約を依頼してください。

各医療機関関係者の皆様へ

必要書類一覧

- ① FAX申し込み用紙
- ② 診療情報提供書
- ③ がん遺伝子パネル検査診療情報提供書 (C-CAT登録用紙)
- ④ 病理診断報告書
- ⑤ 採血検査結果・画像データ
- ⑥ 腫瘍検体

※詳しくはHP (<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/service/genome.html>) をご参照ください。

HP



お申し込み方法

- ・患者サポートセンターへ事前に、①②③をFAXにてお申し込み下さい。予約日を後ほどご連絡いたします。
- ・受診当日は、①②③原本と⑤をご持参ください。または、事前に患者サポートセンターへ郵送してください。

〒028-3695

岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院 患者サポートセンター

検体送付先

- ・受診日(1週間前)までに必ず④病理診断報告書 ⑥腫瘍検体を、当院がんセンターへ郵送してください。

〒028-3695

岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院 がんセンター



IBCまつりにて、 がんセンターPR活動を行いました

9月20日(土)、21日(日)の2日間、滝沢市の岩手産業文化センターで開催された「IBCまつり」にて、がんセンターのPR活動を行いました。

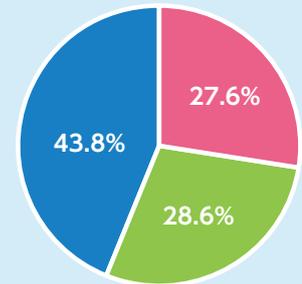
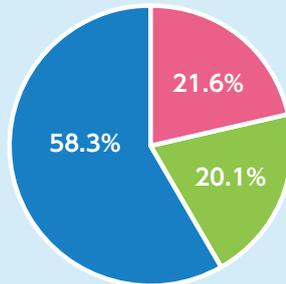
当日は、がんセンターのPRブースを設置し、がんセンターのリーフレットを配布するなど、がんに関するPR活動を行いました。また、がんに関する認知度アンケートを行い、約1,000名の方々よりアンケートにご協力頂きました。主な結果は、下記のとおりです。

がんセンターでは、これからも、県内広く様々なPR活動をとおして、がんに関する認知度を高めていきたいと考えております。



Q. 県内に「がん診療連携拠点病院」
があることを知っていますか。

Q. 県内に「がん相談支援センター」
があることを知っていますか。



■ 知っている ■ 言葉だけは知っている ■ 知らない

第18回岩手県がんフォーラムに 参加いたしました

令和7年11月15日(土)盛岡市内の岩手教育会館にて、岩手県、岩手県がん診療連携協議会、岩手日報主催の「第18回岩手県がんフォーラム」が開催されました。

本フォーラムは、新型コロナ禍を経て、6年ぶりに対面開催、「短期で治す・支えるーがんと向き合う新しい放射線治療」をテーマに、短期間で治療を完結する技術や、症状改善を目指す緩和的治療法など最新の放射線治療について講演やパネルディスカッションが開催されました。

岩手医科大学からも、がんセンター長の板持教授、放射線腫瘍科の有賀教授が座長を務めるなど、フォーラムに参加し最新の放射線治療についてお話をいただきました。

フォーラムの詳しい模様については岩手医科大学公式YouTubeに掲載しております。
是非、右記のコードよりご覧ください。



こちらへアクセス!

イベント

「出張!がん相談支援センター」に、 がん患者・家族サロンも参加しました

令和8年1月20日(火)、岩手医科大学附属病院トクタヴェールにて、「出張!がん相談支援センター」が、開催されました。このイベントは、がん相談支援センターについて、もっと多くの方に知って貰いたく企画されました。がん相談支援センターのスタッフの他、がん患者・家族サロンのスタッフも参加し、PR活動を行いました。がん相談支援センターでは、がんに関する相談を、無料でどなたからでも、お受けしております。また、サロンで行われるイベントなどでもお受けしております。どんな些細な悩みでも構いません。一人で悩まず、お気軽にがん相談支援センターやサロンまでお越しください。



がん患者・家族サロンからのお礼

＼たくさんの寄贈品ありがとうございます。／



クリップ&マグネット



タオル帽子



巾着



コットン帽子



干支のぬいぐるみ



うさちゃん帽子

患者さんより、お礼のメッセージが届いております。

先日はありがとうございました。さっそく使わせてもらってます。肌ざわりもよく重宝しています。私も、落ち着いたら作ってみようと思います。ありがとうございました。

タオル帽子、ありがとうございます。薬で脱毛することはテレビ等で知っていましたが、目の前で主人がそうなる、ほんとうにびっくりしてしまいました。タオル帽子は柔らかいので、夜寝る時など使用させていただいています。作ってくださった方、感謝しています。

いろいろと不安があり、どうか話を聞かしていただき、本当に患者の事を思って親身になって相談にのってください、不安がいくらかでも解消しました。心のもった帽子を無料でいただき、心がなごみました。本当にステキな帽子ありがとうございました。もらったその日から医大の中をかぶって歩きました。本当にありがとうございました。

本当にありがとうございました。

本当に落ち込んでいる気持ちに光を当ててくださったバラさんありがとうございます。どんな時も前向きに進んでいけそうです。帽子使わせていただきます。オレンジとイエローの配色に陽の当たる感じがしています。本当にありがとうございます。

チラッと見た時から色合いがかわいいと思いました。大切に使わせていただきます。ありがとうございます。



院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなく、どなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめお電話にて日時をお約束をすることをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平日(月～金) 9:00～16:00
第1・第4土曜日 9:00～12:00
岩手医科大学附属病院 1階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111

平日(月～金) 10:00～16:00
岩手医科大学附属病院 東エレベーター 7階



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだより13号を最後までお読み頂き誠にありがとうございます。今回は7階に移転した、化学療法センターとがん患者・家族サロンについて特集させていただきました。移転後、スペースの関係上、がんサロンの事務スタッフが不在になりましたが、イベント時は常駐しており、今後どんどんイベントを増やしたいと思っております。これからも変わらずがんサロンまでお越しください。季節柄、寒い日々が続いておりますが、お体にはお気をつけてお過ごしください。